

農村伝道神学校学報

学院 川鶴 神学 院
学校法人 鶴川 農村 伝道 神学 校
発行人 平良 愛香

二〇二三年四月五日入学式

「イエスと主イエスとイエスさま」 ルカによる福音書九章二八―二六

農村伝道神学校校長 平良 愛香

昨年の入学式で、マルコによる福音書の「主の変容（山上の変貌）」の話をした。山を下りるために山に登るといふタイトルだった（学報一八五号参照）。今回、やはり同じく、主の変容と呼ばれている箇所を選んだ。ただし今回はルカの記述から。

「びかぴかと栄光に輝くイエスと、栄光を失って山を下りるイエスと、どっちが本当のイエスなのだろうか」と考える。結論から言えば「どっちも本当のイエスだよ」ということになるのかもしれない。けれど、そう簡単に結論を出してはいけない気がする。「栄光をまとうイエスであってほしい」と思うのは、現実には目の前にある様々な課題から目をそむける口実になってしま

うかもしれない。あまりにも現実がつかないので、栄光のイエスだけを見ていたいというのは、ある意味誘惑なのかもしれない。けれども一方で、「人間イエス」だけを追ってしまふと、キリスト教そのものに対する期待感が薄れてしまうかもしれない。キリスト教が宗教というよりもただの思想になってしまふかもしれない。私自身は自分の神学として、イエスを「神と同じで超越的な、何でもできる贖いの主イエス様」というよりも、「徹底的に人間になった、弱い存在となった、そして私たちと一緒に苦におられ、私たちと一緒に苦しむ友となったイエス」と見ている部分が大い。あまりイエスを「美化」したくない。でもときには、栄光をまとうイ

安全保障関連法廃止！ 辺野古新基地建設反対！

エスも見てみたいなあと思う。

教会によって、イエスをどう呼ぶか、かなり差がある。呼び捨てにしていることもある。呼ぶところもある。もちろん、主イエスやイエス様と呼ぶところもある。もちろん話の内容によって使い分けが必要になることもある。でも「主」や「様」をつけてあたりまえ、つけないといけない、とするのは違うだろう。神学校に在学するということは、教会やキリスト教が歴史的に伝えていふことを学びつつ疑うということ。いつの間にか当たり前と感じていたことを、一つひとつ「本当にそうなのか？」と検証すること。当然その結果は一人ひとり異なる。それが自分の神学になる。歴史的に構築された神学を学びつつも、それを鵜呑みにするのではなく、「では自分は信仰者として、宣教師として、何を信じるのか。何を伝えるのか」という問いを突き付けられること。しんどい作業だし、ときには逃げ出したくなることもある。私にとつてイエスは誰なのか、神って

どんな存在なのか。突き付けられる。

先日、韓国のイムボラ牧師が亡くなられた。イムボラさんは「差別なき世界のためのキリスト教連帯」の共同代表を引き受けたあと、国会前の記者会見で「わたしたちを創ったのは神なのに、誰かが誰かを差別することはできない。一部のキリスト教徒が同性愛を嫌悪する根拠にして聖書を暴力の道具にしたことを悔い改めなければならぬ」と叫んだ。LGBTの差別、教会からの弾圧を無くすために働き続けた女性だった。そのため韓国のキリスト教会からは異端のレッテルを貼られ、迫害を受け続けた。精神的にも肉体的にも追い詰められたのだろう。五四歳（韓国では数えで五五歳）だった。ところが予定されていた追悼礼拝は教会の圧力により、キリスト教以外の施設で開催せざるを得なくなったとのこと。死んでも迫害される。日本では三月二日に信濃町教会で追悼礼拝が行われた。このニュースを聞いて、たくさんの方が悲しみ、そしてイエスも泣いているだろうなあ、本当に涙を流しているだろうなあ、と感じる。同時に、イムボラさんの涙、友人たちの涙をぬぐってくださるイエス、栄光の

イエスがいてほしい、と痛感した。

もしかししたら、栄光のイエスなど必要ない、と思う人もいるかもしれない。しかし栄光のイエスと人間イエス、どちらもイエスなのだなあ、と私は今は思っている。これからも追及していきたいし、在学生の皆さんも、今日入学した皆さんも追及していつてもいい。これは卒業によって完成でもない。イエスか主イエスかイエス様か。それはキリスト者として追及していくことだろう。いろいろなイエスと出会って行ってほしいと思う。イエスと格闘し、そのイエスとの出会いによってまた、神と出会ってほしいと願う。



始業講演（抄） 「パララギ」

教師 池迫直人

「パララギ」という題により、いったい何を講演するのかと思われた方は、少なくとも

思う。これは、19世紀はじめにサモア島の酋長ツイアビがヨーロッパを訪ねた際に、文明社会を根本から批判した書物の題名である。この本を初めて知ったのは、確かわたしは中学生の時だった。偶然、ラジオの朗読の時間だった。しかしこれは、朗読をとおしただけの出会いに終わらなかつた。わたしが、初めて訪ねた外国は、何という偶然か、西サモア島だった。商船大学の最終学年時の遠洋航海実習であった。首都アピアのメイストリートはわずか数百メートルだが、日本の企業の看板があちこちに立てられていた。休日には海辺を友人たちと歩き回った。現地の人たちから、「おまえはウォークマンをもっているか？」などとききりに尋ねられ電気製品で名が知られるようになった国ゆえかとうなずく。そうしているうちに、ひとりの少年、名前は今でも覚えている、屈託のない笑顔のトフイーくんが、麻のズタブクロを引き摺りながら、わたしたちにびったりとついてくる。その袋には外国人が飲み干した飲み物の空き瓶が入っているのだ。彼は仕事をしていたのだ。西サモアは、アメリカの植民地でもあったので、観光客がけっこういた。夕方になりホテ

ルで現地の人たちのシヨールであるというので、夕食がてら出かけると、たどたどしい英語しか話せなくて気後れがちなわたしたちを察してか、食事を注文してもおつりが返ってこないなど、現地のスタッフのがめつきに閉口したものだ。この島での数日の滞在で、記憶に深く刻まれたことが本講演の主題である。それは、やはりわたしたちに着いてきていた一二歳の少年が、「ぼくのガールフレンドを一晩買わないか」とニヤニヤしながら、邪な目つきで発した言葉だ。ツイアビの言葉は、島のひとたちから次第に消えていったのだ。彼ら、いや、わたしたちをも飲み込んでいく文明の力の発端は、なんと農業である。紀元前の昔、古代メソポタミア文明以前、ザグロス山脈付近で自生する小麦を栽培しはじめたのが、農業の起こりである。時間と空間の分節的な概念、灌漑技術をはじめとする自然科学、文字の発明などにより平地に降りていった人たちから、都市国家が生まれ、法による国家の統治と宗教、神官を頂点とする階層構造、軍隊などが置かれる。そして国を支える農地とはいえば、城壁で囲まれた都市の外縁に置かれる。(中略)三〇年余り

を経て、わたしは「パパラギ」にもどって来た。いや、いつももどって来たはずだ、という方がよいかもわからない。

新入生紹介



深沢 新明

どういうわけか農村伝道神学校に行くことになりました。神学校は以前から行きたいと思っていました。農村伝道神学校は名前を知っていただけでした。知り合いの牧師に勧められて受験し、来ることになりました。私も山梨の農家で生まれ育った人間なので丁度いいのかも知れません。急に勉強することになり、混乱気味ですが、有難く学ばせてもらっています。よろしくお願いします。



小林 望

四月に入学させてください。日本基督教団町田ベテル教会の小林望(こばやし のぞみ)と申します。主イエス・キリストの十字

架の福音を宣べ伝える伝道者の道を歩むため、農村伝道神学校で多くを学びたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。



角川 太郎

二学年に編入しました角川太郎です。所属教会は日本基督教団川和教会です。大学では四年間キリスト教を専攻していましたが、暮らしの中にある信仰について学びたく農村伝道神学校に入学しました。坐禅と農業実習を通して、自分自身を見つめ直し、土に触れることによつて、今までとは違う視点で、信仰を深めていきたいと考えています。

新任講師紹介



小手川 到

永山教会牧師の小手川到と申します。「キリスト教概論」を担当します。共に楽しく学

び神学の足腰を鍛えましょう。宇宙事業の企業に勤務、47歳で受洗、農伝で学びました。教会行事でタケノコ掘りや芋掘りなどを楽しんでいきます。農伝の食堂にある天体望遠鏡は私の献品です。宇宙の神秘に魅せられて中学生の頃購入しました。さて、火星にはタケノコのような火星人がいると信じられてきました。1938年米国のラジオ番組はウエルズの「宇宙戦争」を臨時ニュースの形で放送しました。すると火星人が本当に地球を侵略していると、人々はパニックに陥ったのです。火星から地球まで光速で3分。火星人が私たちに手を振っているのが見えたら、それは3分前の姿です。宇宙の歴史はビッグバンから138億年。138億光年彼方を望遠鏡で見ることができれば、宇宙誕生の瞬間が見れるはず。そのとき、そこに天地創造の神は私たちに手を振っておられるでしょうか。



近藤 伸介

4月から宗教学を担当している近藤伸介と申します。実

は去年まで5年間、聴講生として農村伝道神学校でキリスト教について学んでいました。私の研究分野は唯識という仏教哲学ですが、キリスト教には20代の頃から関心を持ち、教会に行ったり、聖書の読書会に出たりしていました。その後、縁あって30代半ばで仏教を学び始め、研究を続けてきましたが、現在の関心は比較思想、特に仏教とキリスト教の比較にあります。これまでキリスト教を学んできてよかつたと思うのは、仏教を外から眺める視点を獲得できたことです。キリスト教という異なる宗教を学ぶことで、仏教を内側からだけでなく、側から見られるようになり、結果的に仏教の特質がより鮮明に分かってきた気がしています。21世紀は世界の諸宗教が対立することなく、共存していかなければなりません。その意味でも、授業を通して神学校の学生の方々と対話を深めていきたいと思っています。

ハラスメント防止ガイドライン

農村伝道神学校のハラスメント防止ガイドラインは二〇〇七年度に作られました。その後何度かの改訂を重ね、今年三月によく一つの形となりました。その要旨をお

◇目的

ハラスメントは個人の尊厳や人権を著しく侵害する行為であり、身体的、性的、心理的暴力です。本ガイドラインの目的は、これらハラスメントを防止し、被害者を守ることにあります。加害者とならないため、問題への関心を深め、普段から学習を重ね、被害者を生み出さないように努力しなければなりません。

また被害が生じた場合には、迅速かつ適切に問題解決に取り組む、再発を防止し、本院の教育環境をより良いものへと変える努力をします。

◇パワー・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント、モラル・ハラスメントの説明
(紙面の都合でセクシュアル・ハラスメント(以下セクハラ)のみ記します)

セクハラは、固定したジェンダー観や差別的な性意識を背景として起こります。性に關わる不快な発言、執拗な交際の誘い、身体への不必要な接触、性的関係の強要などが中心ですが、その他、性的な噂を流したり、本人の承諾なしに写真を撮影したり、それを拡散したり、多くの人の目につくところへヌードポス

ターを貼ったりするなど、間接的に相手方に向けられたものや不特定多数の者に向けられたものも含まれます。また、固定的で差別的な性別役割分担意識からの行動や押し付けなどの言動も、セクハラにあたるものと認識する必要があります。冗談やからかい、親しさの表現、個人的な好意が動機であったとしても、相手の意に反したものであればセクハラとなります。

◇加害者にならないために
ハラスメントは、行為者が意図しているかどうかではなく、相手が不快と思う言動によつて引き起こされます。あなたの言動がハラスメントに当たるか否かは、それを受けとめる相手の判断が重要になります。この程度のこととは勝手に思い込んではいけません。自らの言動に対する相手の反応を注意深く感知し、相手に少しでも不快な様子が見られたなら、その言動を即座にやめなければなりません。また、対等ではないところにハラスメントは起こります。

自分が対等だと思っていなくても、相手はそう感じていないことがあります。性別や年齢、学年や経歴、牧師(教師)と信徒などの間に力関係が起こりやすいことを意識することも必要です。

お互いの境界線を意識することも大切です。ほどよい距離というものは人によつて異なるものです。相手への距離(近さ)が相手に威圧感を与えていないか、意識しましょう。◇「ハラスメントが発生した場合」「ハラスメントを受けた場合」および、問題解決のために、相談窓口を設けてあることの説明、解決のためのフローチャートの説明

なお、今年度の学内相談担当は平良愛香(校長)と石井智恵美(教師)、外部相談窓口として増田琴さん(経堂緑岡教会牧師)、生島嗣さん(ふれいす東京代表)、ジェフリー・メンセンディークさん(桜美林大学チャプレン)が引き受けてくださいました。感謝です。(報告 石井・平良)



『旧約聖書 物語られた歴史』 B.W. アンダーソン著、高柳富夫訳(二〇二三年一月、新教出版社)当校講師であり以前校長でもあった高柳さんの翻訳作業がようやく完結しました。八八六ページの長編ですが、分かりやすく、読み

始めると止まらなくなりま

同窓生等個人消息

任地が変わった等で掲載可の連絡の取れた方を記載させていただきます。異動など変更のある同窓生の方がおられましたら、神学校事務までご連絡いただければ感謝です。

逝去

一 坂口孝代(神九) 隠退教師三月四日逝去(九四歳)

異動

一 清野量(神七二) 別府野口教会就任

学事報告

◇三月一日(水) 終業礼拝
レントのテネブラエ(消火礼拝)の形で

◇四月五日(水) 第七五回入学式と茶話会 一年生二名、二年生一名が入学

◇四月六日(木) 新入生オリエンテーションと始業講演「パラギ」池迫直人教師
◇四月一日(火) より授業開始

◇六月六日(火) 戦争責任シンポジウム「植民地主義と入管法(仮)」佐藤信行さん

理事会評議員会報告

二〇二二年度の第四回理事・評議員会が三月三十一日(金)

に生田教会を会場に開催されました。

今回の主な議題は、農村伝道神学校の補正予算案、二〇二三年度の予算案と事業計画、そして鶴川シオン幼稚園の運営について(継続審議)でした。本年度二回目になる神学校の予算の補正は、主にナラ枯れによる伐採と処理費用が増えたこと、また処理に必要な小型のパワーショベルを購入したことにより増えました。まだまだ処理しなければならぬ木もあり、伐採しないで済む方法を模索中です。

二〇二三年度予算については、幼稚園の利用定員の見直しによる単価の増額と保育を必要とする二号児三号児の定員の充足による収入増により、なんとか収支の均衡を得ることができると見込みです。しかし老朽化した施設等の更新が必要になってきており、二〇二三年度は空調設備、二〇二四年度は園バスを交換する予定で大きな出費が予想されています。

神学校の予算において大きな変化はありませんが、経常収支の均衡を図る手立てが見つけられない状況が続いており、抜本的な対策が求められています。

次に鶴川シオン幼稚園の運営については、最終の報告

がありました。前回の中間報告と大きく変わるところはありませんが、認定こども園として適切な運営ができるよう保育時間、行事、また運営方針の見直しを引き続いて行っていくことが示されました。

また幼稚園と神学校それぞれに中期の計画を作るための委員会を設置することを決定し、早急に計画を立案することになりました。

これまで評議員を担ってくださった荒川朋子さん(アジア学院校長)が退任し、代わって同じアジア学院から大柳由紀子さん(副校長)が就任することが決まりました。

次回は六月十九日(月)に神学校にて行います。理事・評議員会前に完成した新保育棟の見学会も実施する予定です。(報告 瀬戸)

校長より

(編集後記に代えて)

今回の学報では、新入生と前期のみの新任講師紹介を載せました。通年の新任講師紹介は次回とさせていただきます。

問安報告。三月下旬に四国教区に招かれた際、古谷健司さんにお会いすることができました。また五月半ばには波田教会の川本恵子さんをお訪ねすることもできました。感謝です。

今年度は、「宣教学特講」という講座を設けました。宣教者として現場で働く際に、学校ではほとんど(全く)教えない

でもらっていないなかつたという事柄にぶつかることがあります。また、長く現場にいても知識が無かったために対応に困った、という話を聞くこともあります。現場で学ぶことはとても大切ですが、「現場で学んでください」で片づけてしまうのではなく、神学校にいる間に少しでも多くの引き出しを持ってもらいたいと思

い、開講することになりました。宣教に関わるあれやこれや(宣教に関わらない事柄は存在しないのですが)を、いろいろな方をお招きしてお話していただきます。「教師のお仕事(金子信一さん)」「死刑制度(柳川朋毅さん)」「宣教活動に潜むリスク(法律実務現場から(平良一器さん))」「カルト問題(小海基さん)」「精神医療と教会(國米リリ子さ

ん)」「死にゆく者への看取り(佐野浩子さん)」「身体性(坂口聖子さん)」など、その他盛りだくさんです。水曜五限(不定期)、単発の聴講も歓迎いたします。お問合せ下さい。(HP参照)

台湾の玉山神学院との交流の準備も始まっています。どうぞお祈りください。

【前号の学報の訂正とお詫び】

・関田寛雄牧師の逝去日 一二月一五日→一二月一四日
・個人消息での石沢陽子さんの卒業期記載抜け(神四七)
・福島幸子さんの逝去日 一二月二二日→一二月九日
訂正し、謹んでお詫び申し上げます。 校長 平良愛香

2024 年度入学案内

◆受験資格

- (1) 日本基督教団に限らずプロテスタント教会に所属し、原則として受洗後1年以上(洗礼式を行わない教派については、それに準ずる)の教会生活をしている者。
- (2) 所属教会が推薦し(可能であれば)、高卒または同等以上の学力を有すると認められる者。

◆修業年限

- 神学基礎コース：2年間(2年間で修了することも可)。
- 基礎コース修了後、神学専門コースに進むことができる。
- 神学専門教職者養成コース：2年間
- 神学専門信徒宣教師養成コース：1年間または2年間

◆学費

- 入学金 60,000 円(入学時のみ)
- 授業料 240,000 円(年額)
- 設備費 30,000 円(入学時のみ)

◆受験手続

次の書類を期日までに郵送または持参する。

- (1) 入学願書(本校指定の書式)
- (2) 履歴書(本校指定の書式)
- (3) 教会(牧師または役員会)の推薦書(可能であれば)
- (4) 最終学校卒業証明書(または卒業見込み証明書)
- (5) 受験料 10,000 円(振り込み)

◆入学願書受付

- 第1回 2023 年10月17日(火)~11月2日(木)
- 第2回 2024 年1月16日(火)~2月2日(金)

◆入学試験日時

- 第1回 2023 年11月14日(火)午前9時~午後3時
- 第2回 2024 年2月13日(火)午前9時~午後3時

◆会場 本校教室

◆入学試験科目 (1) 小論文 (2) 旧約聖書・新約聖書 (3) 面接

◎入学願書一式、過去の試験問題集は、本校事務室まで請求ください(無料)。

農村伝道神学校

〒195-0063 東京都町田市野津田町 2024

Tel 042-735-5775 Fax 042-735-5711

Eメール: noden@pony.ocn.ne.jp

ホームページ: https://noden.ac.jp/

振替番号

学校法人鶴川学院 00140-7-635524